

京都岡本記念病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

承認番号	2019-39
研究課題名	未破裂脳動静脈奇形の手術適応と予後に関する全国実態調査
研究責任者	【所属】脳神経外科 【氏名】伊藤 清佳
研究主催機関	【主催機関】奈良県立医科大学医学部脳神経外科 【代表者】 教授 中瀬裕之
研究期間	【開始】 2019年 12月 9日 【終了】 2020年 6月 30日
研究の背景・目的・意義・方法など	【目的・意義】 脳動静脈奇形は10～30歳代に発症することが多く、若年者の頭蓋内出血の原因として最大の疾患です。また、年間破裂率は1.7～2.2%ですが、発症すると生命や脳の機能に深刻な影響を及ぼす恐ろしい疾患です。本研究では、現在の本邦における未破裂脳動静脈奇形の治療成績について調査を行い、これから同様の疾患の治療を受ける患者さん方にとって有用な情報を得る事を目的とします。 【方法】 診療録を利用し、未破裂脳動静脈奇形に対して手術加療を行った患者さんの背景、臨床症状、放射線学的所見、治療法、合併症や転帰等を調査します。この上で、手術の方法、神経学的転帰、周術期合併症を主に検討します。
対象者	2014年1月1日から2018年12月31日までに、当院で未破裂脳動静脈奇形に対する手術を受けられた患者さん
試料・情報等の利用目的、利用方法	「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録）を研究に用います。 情報を取扱う際は、研究独自の番号を付して管理し、対象者の秘密保護に十分配慮します。研究事務局に送付する場合は、この番号を使用し、対象者の氏名、生年月日などの情報が院外に漏れないよう十分配慮します。また、研究結果を公表する際は、対象者を特定できる情報は含みません。さらに、研究目的以外に研究で得られた対象者の情報を使用しません。
研究に用いる試料・情報の種類	診療録からは年齢、性別、家族歴、既往歴、症状、術前mRS（状態の指標）、放射線学的所見、術前治療内容、術後合併症、転帰（手術・治療後の症状の経過や結果）
備考	
問い合わせ先	脳神経外科 伊藤 清佳 TEL 0774-48-5500 fax 0774-48-5553

研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、患者さんの情報は利用しないようにいたします。

但し、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なくご連絡下さい。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。